

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

10月15日 午後2時～4時

毎月第三日曜日

10月の
ミニ講話

「コロナ禍の遺したもの」

遠藤 博之 先生

たんぽぽ診療所 院長

コロナ禍に突入した二〇二〇年四月、病院は面会を禁止しました。入院中の父親の最期に立ち会えないと告げられた息子は、父親を退院させ「自宅で看取りたい」とたんぽぽ診療所に相談に來られました。コロナ禍は、それまで考えられなかった状況（限界状況）を作り出しました。

私自身もコロナ禍で激務に追われる中、往診中の車のラジオから「支援臭」という言葉を聞き、頭を殴られたような気がしました。

「支援臭」のする人とは、支援者が善行に酔い「支援してあげる」という空気（雰囲気）を漂わせているという感じのもの。「支援臭」がすると評

されるような人たちは、往々にして正義感が強く、善意に基づいて動いているように見えます。ですが「支援臭」とはよく言ったもので、自分の体臭は自分からしないのと同じように、こういった人たちは自分が良いことをしていると信じて疑わないというか、自分にとっての正しさや望ましが相手と一致していないかもしれないという反省的な視線が弱く、それゆえに当事者たちに煙たがられていることに気づいてないように思われます。

コロナ禍はいろいろなことを私に教えてくれました。今回はそのことをお話したいと思います。



プロフィール

- ・静岡市清水区出身
- ・静岡県立清水東高卒業
- ・山梨医科大学卒業
- ・静岡済生会総合病院 腎臓内科入局
- 院内にて「緩和ケア研究会」を立ち上げ、主宰。
- 腎臓内科医長・緩和診療科科長を歴任。
- ・2006年たんぽぽ診療所開設「スピリチュアルケア、悲しみのケア」を追求中。

今月は会場のみの開催になります。

先月は、「かけこまち七間町」での開催となり、いつも近隣からお越しの皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今月から、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。

会場参加希望の方は、開始時間の二時までに、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。申し込み不要です。

参加者のみなさまへ

- ① 発熱、体調不良の場合は参加をお控えください。
- ② 各自水分のご用意をお願いします。
- ③ 参加料（100円）ご用意をお願いします。

今後のオレンジカフェ予定

令和5年11月19日（日）
ミニ講話 近藤 匡晴 先生
こんどう歯科医院 院長
「高齢者の口腔ケア」
（口の手入れは健康の基礎）



近藤匡晴先生

令和5年12月17日（日）
ミニ講話 森 累美子さん
静岡県認知症ピアパートナー



会場の写真

カフェのプログラム

- 一、ミニ講話 遠藤博之 先生
- 二、声のワークシヨップ 上藤美紀代さん
個別相談（増田實さん）

今月の相談担当者

今月は城東ケアプランセンターから、増田實さん（主任ケアマネジャー、柔道整復師、介護福祉士）が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

会 場 静岡市葵区城東町 34-14

**城東コミュニティプラザ
HapiSpo（ハピスポデイ和かな）**

会場提供 **社会福祉法人静和会**

共 催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647

✉ orange@npo-humancare.jp

